

今月のみことば 2024年4月

さあ、羊をあなたがたの家族ごとに用意しなさい。そして過越のいけにえを屠りなさい。ヒソプの束を一つ取って、鉢の中の血に浸し、その鉢の中の血を鴨居と二本の門柱に塗り付けなさい。あなたがたは、朝までだれ一人、自分の家の戸口から出てはならない。（出エジプト記12章21～22節）

祭りから見えるキリストの十字架

イスラエルの風習の一つに、「過越(すぎこし)の祭り」というものがあります。これは、その昔、古代エジプトでアビブの月、今でいう4月に起こった出来事に起源をもちます。当時、エジプトの地に避難したイスラエル人は、長い期間を経てエジプトの奴隷となり、虐げられていきました。神は、「モーセ」という人物をこのイスラエルの指導者に任命し、約束の地へ向かうようにしましたが、エジプトの王ファラオの圧政により、イスラエルはエジプトを脱出することができませんでした。そこで、神はエジプトに対して「十の災い」を臨ませます。その10番目の災いは、人間から家畜に至るまでの初子がみな打たれる(死ぬ)というものでした。しかし、神は救いの御手を伸ばされ、家族の人数に応じて傷のない1歳の雄羊を屠り、その血を自分の家の鴨居と二本の門柱に塗ってその家の中にとどまっていれば、初子は打たれない、という不思議な約束をされました。聖書によると、そのようにした家には主の霊は過ぎ越され、そのことをしなかったエジプトの家々には激しく泣き叫ぶ声が起こった、と記されています。この出来事により、ファラオはイスラエル人を解放し、イスラエル人はエジプトの苦役から脱出し、約束の地を目指すことができたのです。この喜ばしい転換点を記念するために、この過越の祭りが今でもお祝いされているのです。



今年はこの祭りが4月23日から行われるようです。毎年大事な行事の一つとしてお祝いされていますが、この祭りはあくまで型にすぎません。この過越の祭りが示すものはイエス・キリストの死です。私たちが聖書の神を神と認めず、神なしに歩んでいることを罪と呼んでいます。その罪は真の神との関係を遮り、隔ての壁となるものです。しかし、その壁を打ち壊し、神と人間との関係を正しく導くために、キリストは誕生してくださいました。そして、キリストご自身のいのちをもってその隔ての壁を壊し、真の神と正しい関係に導き入れる道を拓いてくださったのが、イエス・キリストの十字架です。神の御声に従う者は、主の霊が過ぎ越されるのと同じように、イエス・キリストを信じ、従っていく者には永遠の死、永遠の滅びから解放され、主と共に歩ませていただける歩みへと変えられるのです。2千年前のイエス・キリストの十字架こそ、キリストのいのちを代価として、私たちの罪が帳消しにされ、神と正しい関係に導き入れる神のみわざなのです。



さて、この最初の過越の祭りとイエス・キリストの十字架の大きな違いは何でしょうか。1つ目はその家にとどまる者のみが救われましたが、キリストの十字架は信じる者すべてに与えられる救いです。全世界規模の救いです。2つ目はこのキリストの十字架の救いは、一時的ではなく、信じる者にとっては永遠のいのちに至る永続的なものであるということです。そして3つ目は、1歳の雄羊である家畜が屠られましたが、神の御子であるお方が、私たちのために死んでくださったのです。このイエス・キリストの十字架を、私たち一人ひとりが自分事として真剣に考える必要があるのです。